

川崎市と東芝メディカルシステムズによる熊本地震被災地の支援
～食中毒原因菌を短時間で判定できる「DNA検査システム」を供与します～

概 要 被災地において適切な衛生環境の確保に寄与するため、川崎市健康安全研究所と株式会社東芝（以下「両者」との共同研究の成果として開発された「DNA検査システム」^(注)を被災地へ供与します。

背 景 平成 24 年 3 月に発生した東日本大震災の復興支援の一環として、被災地域の避難所、給食施設等における食中毒原因微生物のモニタリング、迅速検査の必要性から、両者は共同研究を行い平成 27 年 1 月に同システムが開発されました。

今回の熊本地震の発生に伴い、「こうした状況のときにこそ同システムを活用すべき」との思いが一致し、システムの事業を継承している東芝メディカルシステムズ株式会社（以下「東芝メディカル」）の全面的協力を得てシステムを供与することになりました。

供与するシステム

- 1 DNA検査装置
熊本県保健環境科学研究所及び熊本市環境総合センター（いずれも衛生研究所）に各 1 台を配置
- 2 検査キット（検査用 DNA チップカード）
それぞれの施設へ 300 枚 計 600 枚を提供

※供与にあたっては、5 月 31 日（火）、6 月 1 日（水）の 2 日間、川崎市健康安全研究所と東芝メディカルから担当者を現地へ派遣し、操作説明・指導等を行います。

供与する時期・期間等

5 月 31 日（火）から約 6 か月を予定

そ の 他

- 川崎市は、サンプル調整法などの技術支援・指導を行います。
- 東芝メディカルは、検査装置の無償貸与、消耗品である検査キットの無償提供等を行います。

川崎市健康福祉局健康安全研究所
微生物担当 松尾
電話 044-276-8250 FAX 044-288-2044

東芝メディカルシステムズ株式会社
広報室 江野
電話 0287-26-5100 FAX 0287-26-5080

注：「DNA検査システム」

今回熊本に供与する DNA 検査システムは、検体から抽出した核酸サンプルを検査用 DNA チップカードに添加し装置にセットするだけで、何の DNA かを判定することができるシステムです。サルモネラや腸管出血性大腸菌など 14 種類の食中毒原因微生物を 2 時間程度で迅速簡便にスクリーニングすることができます。

DNA チップには、用途に応じ、検出対象となる DNA に対応した相補的な配列のプローブ DNA が複数種、電極の上に予め固定化されています。DNA チップ上に検出対象となる DNA(検体 DNA)を添加することにより、検体 DNA と相補的な配列のプローブ DNA がハイブリダイゼーションします。その後、DNA チップ上に挿入剤を添加することで、ハイブリダイゼーションにより 2 本鎖になった DNA にのみ挿入剤が結合します。この状態で DNA チップに電圧をかけることにより挿入剤が酸化することで電極に電流が流れます。この電流を測定することにより、検体 DNA を判定します。

※本検査キットは研究用であり、確定検査用ではありません。

DNA 検査装置 (W490×D270×H450)



検査装置に貼付するステッカー



平成 28 年 5 月 31 日
報 道 発 表 資 料

5 月 31 日現在の熊本地震に伴う被災地への人的支援及び 物的支援について

このたびの熊本県を中心とする地震により亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げるとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

本市では、発災直後から被災状況の情報収集を行うとともに、庁内で対策会議を設置し、全庁を挙げて人的、物的支援などを進めてきたところです。

現在も、国からの要請や指定都市市長会等と連携した取組を進めており、災害派遣精神医療チーム、建物被害認定調査、廃棄物処理業務、教育的支援などの職員を派遣しているところです。（詳細については別紙のとおり）

今後も、被災地からのニーズなども把握しながら、国、指定都市市長会などとも連携して、できる限りの支援を迅速に実施してまいります。

< 連絡先 >

川崎市総務企画局危機管理室

電話：044－200－2793

(別紙)

熊本地震に伴う人的支援状況

5月31日現在

名称	期間	職員	合計
健康相談等	4/19出発 4/19～4/25	保健師(健康福祉局 2人) 運転手(総務企画局 1人)	3人
	4/24出発 4/24～4/30	保健師(健康福祉局 1人) 保健師(麻生区役所 1人) 運転手(総務企画局 2人)	4人
	4/29出発 4/29～5/5	保健師(こども未来局 1人) 保健師(中原区役所 1人) 運転手(総務企画局 1人)	3人
	5/4出発 5/4～5/10	保健師(総務企画局 1人) 保健師(健康福祉局 1人) 運転手(総務企画局 1人)	3人
	5/9出発 5/9～5/15	保健師(こども未来局 1人) 保健師(多摩区役所 1人) 運転手(総務企画局 1人)	3人
	5/14出発 5/14～5/20	保健師(こども未来局 1人) 保健師(高津区役所 1人) 運転手(総務企画局 1人)	3人
	5/19出発 5/19～5/25	保健師(川崎区役所 1人) 保健師(幸区役所 1人) 運転手(総務企画局 1人)	3人
	5/24出発 5/24～5/30	保健師(健康福祉局 1人) 保健師(川崎区役所 1人) 運転手(総務企画局 2人)	4人
下水管きょに関する1次調査	4/19出発 4/21～4/25	土木職(上下水道局 6人) 運転手(上下水道局 2人)	8人
	4/25出発 4/26～4/30	土木職(上下水道局 6人) 運転手(上下水道局 2人)	8人
	4/30出発 5/1～5/5	土木職(上下水道局 2人)	2人
	5/5出発 5/6～5/10	土木職(上下水道局 2人)	2人
下水管きょに関する2次調査	5/10出発 5/11～5/15	土木職(上下水道局 1人) 機械職(上下水道局 1人)	2人
	5/15出発 5/16～5/20	土木職(上下水道局 2人)	2人
	4/16出発 4/16～4/18	医師(病院局 1人)	1人
	5/3出発 5/3～5/9	医師(病院局 1人)	1人
災害医療コーディネーター(DMAT)	4/18出発 4/18～4/20	医師(病院局 1人) 看護師(病院局 3人) 放射線技師(病院局 1人)	5人
災害派遣医療チーム(DMAT)	4/29出発 4/29～5/1	医師(健康福祉局 1人)	1人
災害派遣精神医療チーム(DPAT)事前調査	5/26出発 5/26～6/1	医師(病院局 1人) 看護師(病院局 1人) 社会福祉職(健康福祉局 2人) 運転手(総務企画局 1人)	5人
配水管及び給水管の漏水調査及び修繕	4/26出発 4/27～5/3	技術職(上下水道局 2人) 技能職(上下水道局 3人)	5人
	5/2出発 5/3～5/9	技術職(上下水道局 2人) 技能職(上下水道局 3人)	5人
	4/22出発 4/23～4/25	建築職(まちづくり局 2人)	2人
	4/25出発 4/26～4/28	建築職(まちづくり局 4人)	4人
被災建築物応急危険度判定	5/1出発 5/2～5/4	土木職(まちづくり局 3人)	3人
	5/4出発 5/5～5/7	土木職(まちづくり局 3人)	3人
	5/7出発 5/8～5/10	土木職(まちづくり局 3人)	3人
	5/22出発 5/23～5/26	土木職(まちづくり局 3人)	3人
	5/7出発 5/7～5/21	建築職(まちづくり局 2人)	2人
避難所運営支援	4/22出発 4/22～4/25	事務職(総務企画局 2人)	2人
	4/26出発 4/27～4/30	事務職(総務企画局 1人)	1人
	4/27出発 4/27～4/30	事務職等(各局区 28人)	28人
	4/30出発 4/30～5/4	事務職(総務企画局 1人)	1人
	4/30出発 4/30～5/4	事務職等(各局区 28人)	28人
	5/4出発 5/4～5/11	事務職等(各局区 28人)	28人

(注)DMATの出発、帰庁日は一部修正有のため、期間は本編参照のこと。

避難所運営支援	5/5出発 5/5～5/11	事務職(総務企画局 1人)	1人
	5/11出発 5/11～5/15	事務職(総務企画局 1人)	1人
	5/11出発 5/11～5/18	事務職(各局 16人)	16人
	5/15出発 5/15～5/18	事務職(総務企画局 1人)	1人
建物被害認定調査	5/1出発 5/2～5/6	事務職(財政局 4人)	4人
	5/8出発 5/9～5/13	事務職(財政局 6人)	6人
	5/15出発 5/15～5/24	事務職(財政局 6人)	6人
	5/22出発 5/23～5/27	事務職(財政局 6人)	6人
	5/29出発 5/30～6/3	事務職(財政局 6人)	6人
り災証明発行	5/5出発 5/5～5/7	事務職等(各局区 4人)	4人
	5/9出発 5/9～5/13	事務職等(各局区 6人)	6人
	5/16出発 5/16～5/20	事務職等(各局区 6人)	6人
	5/23出発 5/23～5/27	事務職等(各局区 6人)	6人
教育の支援	5/14出発 5/14～5/21	指導主事(教育委員会事務局 1人)	1人
	5/21出発 5/21～5/28	指導主事(教育委員会事務局 1人)	1人
	5/28出発 5/28～6/4	指導主事(教育委員会事務局 1人)	1人
廃棄物処理	5/19出発 5/20～5/27	運転手(環境局 10人) 技能職(環境局 5人) 事務職(環境局 1人)	16人
	5/27出発 5/28～6/3	運転手(環境局 10人) 技能職(環境局 5人) 事務職(環境局 1人)	16人
福祉避難所支援	5/24出発 5/24～5/30	社会福祉職(健康福祉局 2人)	2人
栄養相談等	5/24出発 5/24～5/30	栄養士(健康福祉局 1人)	1人
食中毒原因判定支援	5/31出発 5/31～6/1	臨床検査技師(健康福祉局 1人)	1人
			延べ人数 289人

熊本地震に伴う物的支援状況

5月31日現在

名称	数量
紙オムツ(大人用)	1,134枚
紙オムツ(子供用)	11,536枚
トイレットペーパー	5,880ロール
生理用品	1,3728枚
ブルーシート	34枚
アルファ化米	10,850食
水(500ml)	10,128本
簡易トイレ	200個
排便収納袋	10,000枚

平成 28 年 7 月 5 日
報道発表資料

熊本地震に伴う被災地への人的支援及び物的支援について

平成 28 年熊本地震が発生してから 2 カ月半余りが経過しました。いまだに余震が続き、避難所生活を余儀なくされている方々もおられます。改めて亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げるとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

本市では、庁内で対策会議を設置し、全庁を挙げて人的、物的支援などを進めてきたところです。現在も、国からの要請や指定都市市長会等と連携した取組を進めており、被災証明に係る建物被害認定調査や学校教育に係る運営支援に職員を派遣しているところです。（詳細については別紙のとおり）

今後も、熊本市を初めとする被災地の一日も早い復旧・復興に向けて、国、指定都市市長会などとも連携して、できる限りの支援を実施してまいります。

<連絡先>

川崎市総務企画局危機管理室

電話：044-200-2793

(別紙)

熊本地震に伴う人的支援状況

7月4日現在

名称	期間	職員	合計
健康相談等	4/19出発 4/19～4/25	保健師(健康福祉局 2人) 運転手(総務企画局 1人)	3人
	4/24出発 4/24～4/30	保健師(健康福祉局 1人) 保健師(麻生区役所 1人) 運転手(総務企画局 2人)	4人
	4/29出発 4/29～5/5	保健師(こども未来局 1人) 保健師(中原区役所 1人) 運転手(総務企画局 1人)	3人
	5/4出発 5/4～5/10	保健師(総務企画局 1人) 保健師(健康福祉局 1人) 運転手(総務企画局 1人)	3人
	5/9出発 5/9～5/15	保健師(こども未来局 1人) 保健師(多摩区役所 1人) 運転手(総務企画局 1人)	3人
	5/14出発 5/14～5/20	保健師(こども未来局 1人) 保健師(高津区役所 1人) 運転手(総務企画局 1人)	3人
	5/19出発 5/19～5/25	保健師(川崎区役所 1人) 保健師(幸区役所 1人) 運転手(総務企画局 1人)	3人
	5/24出発 5/24～5/30	保健師(健康福祉局 1人) 保健師(川崎区役所 1人) 運転手(総務企画局 2人)	4人
下水管きよに関する1次調査	4/19出発 4/21～4/25	土木職(上下水道局 6人) 運転手(上下水道局 2人)	8人
	4/25出発 4/26～4/30	土木職(上下水道局 6人) 運転手(上下水道局 2人)	8人
下水管きよに関する2次調査	4/30出発 5/1～5/5	土木職(上下水道局 2人)	2人
	5/5出発 5/6～5/10	土木職(上下水道局 2人)	2人
	5/10出発 5/11～5/15	土木職(上下水道局 1人) 機械職(上下水道局 1人)	2人
	5/15出発 5/16～5/20	土木職(上下水道局 2人)	2人
災害医療コーディネーター (DMAT)	4/16出発 4/16～4/18	医師(病院局 1人)	1人
	5/3出発 5/3～5/9	医師(病院局 1人)	1人
災害派遣医療チーム(DMAT)	4/18出発 4/18～4/20	医師(病院局 1人) 看護師(病院局 3人) 放射線技師(病院局 1人)	5人
災害派遣精神医療チーム(DPAT)事前調査	4/29出発 4/29～5/1	医師(健康福祉局 1人)	1人
災害派遣精神医療チーム(DPAT)	5/26出発 5/26～6/1	医師(病院局 1人) 看護師(病院局 1人) 社会福祉職(健康福祉局 2人) 運転手(総務企画局 1人)	5人
配水管及び給水管の漏水調査及び修繕	4/26出発 4/27～5/3	技術職(上下水道局 2人) 技能職(上下水道局 3人)	5人
	5/2出発 5/3～5/9	技術職(上下水道局 2人) 技能職(上下水道局 3人)	5人
被災建築物応急危険度判定	4/22出発 4/23～4/25	建築職(まちづくり局 2人)	2人
	4/25出発 4/26～4/28	建築職(まちづくり局 4人)	4人
被災地宅地応急危険度判定	5/1出発 5/2～5/4	土木職(まちづくり局 3人)	3人
	5/4出発 5/5～5/7	土木職(まちづくり局 3人)	3人
	5/7出発 5/8～5/10	土木職(まちづくり局 3人)	3人
	5/22出発 5/23～5/26	土木職(まちづくり局 3人)	3人
応急仮設住宅建設	5/7出発 5/7～5/21	建築職(まちづくり局 2人)	2人
避難所運営支援	4/22出発 4/22～4/25	事務職(総務企画局 2人)	2人
	4/26出発 4/27～4/30	事務職(総務企画局 1人)	1人
	4/27出発 4/27～4/30	事務職等(各局区 28人)	28人
	4/30出発 4/30～5/4	事務職(総務企画局 1人)	1人
	4/30出発 4/30～5/4	事務職等(各局区 28人)	28人
	5/4出発 5/4～5/11	事務職等(各局区 28人)	28人

(注) DMATの出発、帰庁日は一部修正有のため、期間は本編参照のこと。

避難所運営支援	5/5出発 5/5～5/11	事務職(総務企画局 1人)	1人
	5/11出発 5/11～5/15	事務職(総務企画局 1人)	1人
	5/11出発 5/11～5/18	事務職(各局 16人)	16人
	5/15出発 5/15～5/18	事務職(総務企画局 1人)	1人
建物被害認定調査	5/1出発 5/2～5/6	事務職(財政局 4人)	4人
	5/8出発 5/9～5/13	事務職(財政局 6人)	6人
	5/15出発 5/15～5/24	事務職(財政局 6人)	6人
	5/22出発 5/23～5/27	事務職(財政局 6人)	6人
	5/29出発 5/30～6/3	事務職(財政局 6人)	6人
	6/3出発 6/3～6/9	事務職(財政局 4人)	4人
	6/9出発 6/9～6/15	事務職(財政局 4人)	4人
	6/15出発 6/15～6/20	事務職(財政局 4人)	4人
	6/20出発 6/20～6/25	事務職(財政局 4人)	4人
	6/25出発 6/25～6/30	事務職(財政局 4人)	4人
	6/30出発 6/30～7/7	事務職(財政局 4人)	4人
り災証明発行	5/5出発 5/5～5/7	事務職等(各局区 4人)	4人
	5/9出発 5/9～5/13	事務職等(各局区 6人)	6人
	5/16出発 5/16～5/20	事務職等(各局区 6人)	6人
	5/23出発 5/23～5/27	事務職等(各局区 6人)	6人
教育の支援	5/14出発 5/14～5/21	指導主事(教育委員会事務局 1人)	1人
	5/21出発 5/21～5/28	指導主事(教育委員会事務局 1人)	1人
	5/28出発 5/28～6/3	指導主事(教育委員会事務局 1人)	1人
	6/4出発 6/4～6/11	指導主事(教育委員会事務局 1人)	1人
	6/11出発 6/11～6/18	指導主事(教育委員会事務局 1人)	1人
	6/18出発 6/18～6/25	指導主事(教育委員会事務局 1人)	1人
	6/25出発 6/25～7/2	指導主事(教育委員会事務局 1人)	1人
	7/2出発 7/2～7/7	指導主事(教育委員会事務局 1人)	1人
廃棄物処理	5/19出発 5/20～5/27	運転手(環境局 10人) 技能職(環境局 5人) 事務職(環境局 1人)	16人
	5/27出発 5/28～6/3	運転手(環境局 10人) 技能職(環境局 5人) 事務職(環境局 1人)	16人
	6/4出発 6/5～6/11	運転手(環境局 10人) 技能職(環境局 5人) 事務職(環境局 1人)	16人
福祉避難所支援	5/24出発 5/24～5/30	社会福祉職(健康福祉局 2人)	2人
	6/6出発 6/6～6/12	社会福祉職(健康福祉局 1人) 作業療法士(健康福祉局 1人)	2人
	6/12出発 6/12～6/18	社会福祉職(健康福祉局 2人)	2人
	6/18出発 6/18～6/24	社会福祉職(健康福祉局 1人) 心理職(健康福祉局 1人)	2人
	6/24出発 6/24～6/30	社会福祉職(健康福祉局 2人)	2人
栄養相談等	5/24出発 5/24～5/30	栄養士(健康福祉局 1人)	1人
食中毒原因判定支援	5/31出発 5/31～6/1	臨床検査技師(健康福祉局 1人)	1人
延べ人数 342人			

熊本地震に伴う物的支援状況

7月4日現在

名称	数量
紙オムツ(大人用)	1,134枚
紙オムツ(子供用)	11,536枚
トイレットペーパー	5,880ロール
生理用品	1,3728枚
ブルーシート	34枚
アルファ化米	10,850食
水(500ml)	10,128本
簡易トイレ	200個
排便収納袋	10,000枚

平成28年熊本地震被災地支援競輪第12回サマーナイトフェスティバル(GⅡ)を開催します。

平成28年熊本地震被災地支援競輪第12回サマーナイトフェスティバル(GⅡ)を7月16日(土)～7月18日(月・祝)に開催します。7月にはメインスタンドの再整備も一部を除き完成し、お客様の期待に応えるとともに、ナイター競輪最高峰の祭典として例年以上の盛り上がりを目指しております。

1 開催日時 平成28年7月16日(土)～7月18日(月・祝)

第1レース 15:20発走予定

最終レース(第12レース) 20:25発走予定 ※最終日のみ20:30発走予定

2 主な出場選手(参加選手数81名)

新田祐大(福島)、武田豊樹(茨城)、平原康多(埼玉)、浅井康太(三重)
稲垣裕之(京都)、村上義弘(京都)、郡司浩平(神奈川)、深谷知広(愛知)

3 表彰式

平成28年7月18日(月・祝)第12レース 決勝競走終了後

【第12回サマーナイトフェスティバル(GⅡ)】 川崎市長賞ほか

平成28年7月18日(月・祝)第9レース終了後

【ガールズケイリンフェスティバル2016(FⅡ)】 川崎市長賞ほか

4 売上目標額 42億円

5 主なイベント情報

7月16日(土) ペンギン&ふれあい動物園(14:00～19:00)

「川崎純情小町」ミニライブ(7レース、9レース後)

7月17日(日)

「仮面ライダーゴースト&ドライブ」ショー(7レース、10レース後)

7月18日(月)

「あべ静江」ミニライブ(7レース後、10レース後)

6 来場ファンサービス

○開門時から各日先着1,000名様に(指定席含む)「SNFオリジナルQUOカード」が100名様に当たるラッキーカードを配布いたします。

○新聞折り込み及び開催中の川崎駅前街頭配布のチラシをお持ちの方を対象に、お楽しみ抽選会を行います。

7 主な広報戦略等

○JR川崎駅改札前時計台に幕張の広告をいたします。さらに市役所通りにフラッグ広告をいたします。

○京浜東北線、東海道線、京急線、山手線その他近隣電車内に宣伝ポスターを掲示します。

○京浜東北線、根岸線、南武線の車内ドア上モニターにスポットCMとしてPVを放映します。(JRトレインチャンネル)



〔問合せ〕

川崎市経済労働局公営事業部業務課

電話：044-233-5501

※レース売上の一部を熊本地震の災害復興のための支援金として拠出

川崎市長が熊本市長へ支援金を手渡しました

川崎市の福田紀彦市長は8月17日、熊本市役所を訪れ、「川崎市民の皆様から寄せられた応援の「まごころ」をお届けしました。有効に活用してください。」との言葉とともに、熊本市の大西一史市長に熊本地震被災者等支援のための支援金の目録を手渡しました。

○支援金は、市民、団体、企業等から寄せられた寄附金で2,000万円

懇談の中で、福田市長は大西市長に対し、「既に熊本市民の皆さんは頑張っているので、川崎市としては、息の長い応援を頑張りたい。」と話しました。

大西市長は「川崎市の全面的なバックアップをありがたく思っています。両市の絆を深めて、川崎市の支援に応えられるよう復興に努めたい。」とお礼を述べられました。この後、熊本地震に関する教訓などについて両市長で意見交換が行われました。



※写真左：「大西一史」熊本市長 右：「福田紀彦」川崎市長

問い合わせ 川崎市健康福祉局地域福祉課
高階 電話 044-200-2625

熊本地震により生じた災害廃棄物の処理に関する 協定を締結します

川崎市と熊本市は、「熊本地震に伴う災害廃棄物の処理に関する協定書」を締結し、熊本地震で発生した災害廃棄物の処理を川崎市で行うことになりました。

なお、災害廃棄物の運搬については、日本貨物鉄道株式会社（ＪＲ貨物）と連携して行うこととしており、熊本市の早期の震災復興を目指し支援します。

1 支援計画の概要

熊本地震により熊本市内で約81万トンという膨大な量の災害廃棄物が発生しており、早期の処分が必要なことから環境省から広域処理に関する依頼を受けました。

川崎市では、ＪＲ貨物を活用した廃棄物鉄道輸送を行っていることから、今回の依頼を受け、熊本市と協定を締結の上、ＪＲ貨物と連携して、川崎市内で災害廃棄物の焼却処理を実施します。

2 協定締結日

平成28年9月15日

3 実施期間

平成28年9月16日～平成30年6月30日まで

4 受入災害廃棄物及び受入量

家屋の解体木くず（日量：約20トン）

5 受入施設

川崎市浮島処理センター（川崎市川崎区浮島町509番地1）

6 処理費用

木くずの処理費用については無償

7 役割分担

- ・熊本市 コンテナへの木くずの積み込み
- ・ＪＲ貨物 熊本市から川崎市への輸送
- ・川崎市 浮島処理センターにおいて焼却処理

8 ＪＲ貨物と連携して処理した災害廃棄物の実績

- ・阪神淡路大震災 平成7年度～平成8年度 18,620t
- ・新潟県中越沖地震 平成19年度 28t



（木くず）



（鉄道輸送用コンテナ）

問合せ先：川崎市環境局施設部処理計画課
電話：044-200-2586

市内の商店街やイベントと連携して熊本地震被災地応援フェアを開催します。

熊本地震の被災地支援として、市内商店街が主催するイベント等と連携し、物産販売や募金などを行う「被災地応援フェア」を**市内 15 箇所**で開催します。

また、川崎フロンターレの協力のもと、**熊本県出身の谷口選手・車屋選手を起用した、募金を呼びかけるポスター**を作成し、商店街加盟店舗での募金活動を行います。

これらを通じて、市内の消費喚起を図るとともに多くの市民の参加を呼びかけながら市全域での被災地支援の取組へとつなげます。

熊本地震被災地応援フェア

■実施内容

①熊本名産品の販売

- ・熊本市及び熊本県東京事務所と連携し、名産品を販売します

②熊本地震の写真展示

- ・熊本地震の発生直後や復興しつつある現状を伝える写真を展示します
- ・熊本市への川崎市職員派遣活動の写真を展示します

③九州旅行の案内パンフレット等を配布

- ・減少している九州地方への誘客を実施します

④出店場所での募金箱の設置

- ・集まった募金は川崎市の熊本地震被災者支援口座を通じ、被災地支援へつなげます

■開催日時・場所

別紙のとおり

商店街各店舗での募金活動

■内容

川崎フロンターレの協力のもと、熊本県出身の谷口選手・車屋選手を起用し、募金を呼びかけるポスターを作成しました。川崎市商店街連合会加盟の各店舗と川崎商工会議所の各支所で掲示し、募金活動を行います。

■実施時期

10 月 1 日～11 月 30 日



問い合わせ

川崎市経済労働局産業振興部商業振興課
電話 044-200-2328 FAX 044-200-3920
Mail 28syogyo@city.kawasaki.jp

別紙

開催予定箇所

日時	イベント名	開催場所
10月2日(日) 12:00~16:00	第12回プライマルクト	東急東横線 元住吉駅周辺
	オズフェスタ	
10月2日(日) 10:00~16:00	さぎぬま商店会秋祭り	東急田園都市線 鷺沼駅周辺
10月2日(日) 11:00~16:30	KAWASAKI Halloween	JR 川崎駅徒歩5分 チネチッタ
10月15日(土) 9:30~15:00	多摩区民祭	小田急線 向ヶ丘遊園駅徒歩10分 生田緑地
10月15日(土) 9:30~16:00 10月16日(日) 10:00~16:00	幸区民祭	JR 矢向駅徒歩15分 幸区役所
10月16日(日) 10:00~15:00	中原区民祭	JR 武蔵中原駅徒歩15分 等々力緑地
10月22日(土) 10:00~16:00	しんゆりマルシェ 2016	小田急線 新百合ヶ丘駅周辺
10月22日(土) ,23日(日) 11:00~17:00	銀座街秋祭り	JR 川崎駅徒歩5分 銀座街商店街・銀柳街商店街
	銀柳街秋祭り	
10月22日(土) 11:00~17:00 10月23日(日) 11:00~16:00	コスギフェスタ 2016	東急東横線・目黒線 武蔵小杉駅徒歩2分 こすぎコアパーク周辺
10月22日(土) 11:00~17:00 10月23日(日) 11:00~16:00	連連連・つなごうかわさき	JR 川崎駅徒歩8分 市役所本庁舎駐車場
10月23日(日) 10:00~17:00	いいじゃんかわさき	JR 川崎駅徒歩8分 東田公園
11月 6日(日) 10:30~15:00	ポレポレ祭り・フリーマーケット大会	武蔵溝ノ口駅前商店街
11月19日(土) 10:00~17:00	Buy かわさきフェスティバル in たかつ	JR 武蔵溝ノ口駅改札前

※天候等による開催可否については各主催者に問い合わせいただきます

かわさき市政だより

KAWASAKI

9.21

2016
SEPTEMBER

2016(平成28)年 9月21日号 No.1145

発行 川崎市 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1
☎044-200-2111(代表)

編集 総務企画局シティプロモーション推進室
☎044-200-2287、☎044-200-3915



ひごまる



©2010熊本県くまモン



川崎から熊本へ

～温かいご支援ありがとうございます～

熊本地震では、ボランティア活動や義援金などで、多くの市民や団体が復興支援に携わりました。
また、延べ約380人の市職員がさまざまな分野で被災地支援を行いました。

8月に福田紀彦市長は、熊本地震の被災地である熊本市、益城町、西原村を訪れ、被災者支援のために市民などから寄せられた義援金、総額3,000万円をお届けしました。また、大西熊本市長と対談し、メッセージをいただきました。

☎総務企画局危機管理室 ☎200-2894、☎200-3972

都会こそ地域の絆が大切

～熊本市長から川崎市民に伝えたいこと～

大西熊本市長 川崎市民の温かいお気持ちありがとうございます。

福田市長 発災直後の様子を伺えますか？

大西熊本市長 地震発生直後は、家の中や避難所の中に入ることを恐れ、グラウンドにマットを敷いて過ごしていたという人も多くいた状況が2、3日続きました。また、避難所が分らない人が多く、公的施設や広場にたくさんの人が集まり、避難者の把握や対応がなかなかできませんでした。

福田市長 避難所も相当厳しかったと聞いていますが…。

大西熊本市長 震災当初は職員自身も被災しているので、想定し

た人数が集まらない状況でした。避難所の運営や物資の受け渡しスムーズにできていたのは、日頃から訓練などに取り組み、**地域同士のつながりが強い地域の避難所**でした。

福田市長 今回の地震の教訓から川崎市民に伝えたいメッセージをお願いします。

大西熊本市長 まず、必要なのは自分自身で数日間生き延びる「市民力」。行政も地震後1日、2日は十分な支援ができません。市民の皆さんには**最低2、3日くらいの食料、水、防災グッズ**などは備えてもらいたいと思います。次に、「地域力」。今回は地域の皆さんが家にある食料などを持ち寄って炊き出しを行いました。**都会こそ地域の絆が大切**。都会だからこそ、顔が見えないからこそ**「みんなで助け合う」ことを合言葉**にしていきたいと思います。



福田市長

大西熊本市長



大西熊本市長からのメッセージ

関連記事4面

市政に関するお問い合わせ、ご意見、ご相談は
サンキューコールかわさき 044-200-3939

☎200-3900
8時～21時(年中無休)

川崎市のデータ(平成28年9月1日現在) ※平成27年国勢調査速報値を基にした推計値です
人口:148万9,133人(前年同月比15,475人増) 世帯数:70万3,090世帯

平成 2 8 年熊本地震派遣報告記録集 資料編

平成 2 8 年 1 1 月発行

発行 川崎市総務企画局危機管理室

電話 0 4 4 - 2 0 0 - 2 8 4 0

